

## 腹部脂肪蓄積の遺伝的素因が糖尿病や心臓病のリスクに関連

観察研究により腹部脂肪蓄積と 2 型糖尿病および冠動脈性心疾患との関連が示されているが、因果関係については不明である。本研究では、BMI(肥満指数)で補正したウエスト/ヒップ比の多遺伝子リスクスコア（腹部脂肪蓄積の遺伝的素因の指標）と 2 型糖尿病および冠動脈性心疾患との関連を検討した。

英国のバイオバンクの参加者 111,986 例を対象に観察研究を実施した。平均年齢は 56.9 歳、52.5%が女性、平均ウエスト/ヒップ比は 0.875 であった。BMI で補正したウエスト/ヒップ比の多遺伝子リスクスコアが 1SD 上昇すると、トリグリセライド値が 27mg/dL、食後 2 時間血糖値 4.1mg/dL、収縮期血圧が 2.1mmHg それぞれ上昇した（いずれも  $P < 0.01$ ）。さらに BMI で補正したウエスト/ヒップ比の多遺伝子リスクスコアの 1SD 上昇により、2 型糖尿病のリスクが有意に増大し（オッズ比：1.77）、冠動脈性心疾患のリスク上昇した（オッズ比 1.46）。

したがって、遺伝的素因として BMI で補正したウエスト/ヒップ比の高値は、2 型糖尿病や冠動脈性心疾患のリスクの高さに関連することが示された。これは、腹部脂肪蓄積と 2 型糖尿病および心臓血管病との因果関係を支持するものである。

出典：Journal of the American Medical Association. 2017; 317(6): 626-634